

編集後記

本学総合社会学部は、多角的な視点から、社会を分析するとともに、現代社会が抱えるさまざまな問題について、具体的な解決策を提示し、実践する力を持つ人材の育成をミッションにしている。教員の専門も、政治、経済、法学、社会学、人類学、観光、都市計画、社会心理、メディア、教育など、多岐にわたる。

本号は、マクロ経済と教育という、一見かけ離れた領域の2本の論文を掲載しているが、それは、こうした本学部の特徴を表現しているといえる。

学問の領域は細分化が進む一方である。そのため、本誌への投稿は、専門学術誌に投稿する前段階のアイデアのアウトプットという意味合いを、少なからず帯びている。そうした「場」としての位置づけを、本誌は否定しない。ただ、そのうえでなお、今後、異なるディシプリンを横断し、社会を総合的に把握しようとする共同研究の成果が、本誌をつうじて、社会に送り出されることを、編者は切望する。

執筆者紹介(掲載順)

山本真一	京都文教大学・総合社会学部・准教授
澤達大	京都文教大学・総合社会学部・准教授

2018年度編集委員会

*永澤 哲山崎 晶
*編集委員長

京都文教大学 総合社会学部研究報告 第二十集

平成31年3月31日 発行

発行 京都文教大学
京都府宇治市榎島町千足80
〒611-0041 電話 (0774)25-2400

印刷 (株) 同朋舎
京都市下京区中堂寺鍵田町2
〒600-8805 電話 (075)361-9121